

【 経 営 理 念 】

- ・「熱い想い」「実行力」「継続力」の三意を以っておこなうこと
- ・「知識」「見識」「胆識」の三識を以っておこなうこと
- ・人に施したる利益を記憶せず、人より受けた恩恵は忘れないこと
- ・道徳心と互助扶助の精神を以って、志をかかげること
- ・困難に遭遇しても、負けず、逃げず、諦めず、やり遂げること

当法人は、「地域の小さな役所」をモチーフとし、健全で正しく機能する、エクセレントな法人を目指します。

- ・本来あるべき姿に問題が生じれば、現状から課題を抽出し、「解決」へと取り組んでいます。
- ・道徳心、互助精神、コミュニケーションを育み、「国民総幸福量の向上」を図り次世代へと繋げています。
- ・個人や団体、青少年や家族、多世代にわたる人とを繋げ、「ネットワークづくりと経済活性化」を図っています。
- ・家族間や職場、社会的弱者などの相談・支援を行い、暮らしや仕事など、「環境の充実」を図っています。

(ロジックモデルの基本要素)

- ・インプット 事業実施に必要な人、モノ、カネ、計画など
- ・活動 計画に沿って活動を実施するプロセス
- ・アウトプット 活動を実施した結果で、計画通りに実施すれば得られるもの
- ・アウトカム 活動の結果、対象者や周囲に及ぼす影響
- ・インパクト 大規模な範囲での地域や社会への影響

これらの活動により、社会(地域)全体に波及効果をもたらす5つの項目を基本にあげ、
地域の人達の国民総幸福量(GNH)の向上へと繋げていきます。

- ・個々の人間的な向上(仁、義、礼、智、信、の五つの道徳 五常)
- ・生活(家族)の安定(健全で安全な暮らし、金融、経済、行政)
- ・仕事の充実(技術、人脈、やりがい、目的、夢)
- ・次世代への育成(奉仕、財産、インフラストラクチャー)
- ・ハッピーリタイヤ(人生の設計プラン、保障、生涯現役)

「経営方針」の概要

① 個々の人間的の向上

みなさんが、モラルや相互扶助をもって向上して頂きたい。

例えば「あいつ性格悪いよ」「せこい奴だ」とは、言われたくないはず。「いい奴だよ」「頼りになる」「信頼できる」のほうがいいですね。幼少時代から義務教育を得て、学生から社会人になった今、現在も学び努力することを続けていますか。意志もなく決められた毎日消費しているだけではないですか。人生の半ば近くになり、何事も熟知した気になり、事なかれ主義になってはいないでしょうか。

子どもの頃に将来の夢を描いたように、まだまだこの先、熱意や活気をもって生きていくことが必要です。

- ◇ 仁…人を思いやること。
- ◇ 義…利欲にとらわれず、人の歩む正しい道のこと。
- ◇ 礼…謙虚、感謝の心。礼儀礼節。
- ◇ 智…人や物事の善悪を正しく判断する知恵こと。
- ◇ 信…心と言葉、行いが一致し、嘘がなく誠実であること。

② 生活(家族)の安定

みなさんの家族や知人が、健全で安全な地域で暮らし、安定した生活をおくれる様に。

人生はしばしば予期せぬ出来事に遭遇します。例えば、家庭の問題や仕事のトラブルが没発する。

自分や家族が重い病気にかかり、自由な生活ができない。職を失い生活が困難になる。

事故や事件に巻き込まれる。など様々な困難に遭遇します。そのようなことを予測し備えておくこと、また対応できる手段や知識を築き、みんなで解決することが大切だと考えます。

③ 本業の仕事の充実

仕事の充実、人とのつながり、生きる目的や夢、充実した日々を送れるように。

職場の往復の毎日、職場のみの付き合いにとどまらず、旧友との時間や新たな異業種との交流も大切です。自分の可能性を制限せず、広い視野で物事を見る様にしましょう。

出来ない理由を言ってみたり、忙しいを理由にせず、今すべきことは後回しにしないで実行し、限られた時を有意義に過ごすことが大切だと考えます。

④ 次世代への育成

子どもや将来のために、創造や構築し、伝え残していく事も大切です。

片付けなさい。宿題しなさい。早くしなさい。これはダメ。何してるの。と、注意や指摘をします。

(それとは反対に、全く無関心の人もありますが。)

周りには注意や指摘はしますが、自分は出来ているのでしょうか。注意してくれる人はいない年齢になり、気づかず過ごしていませんか。汚れたシャツのように、汚れに気づき、清潔さを保つために、自分の手で洗濯しようとするか、その汚れを、仕方がないとほっておく人生か、今の自分はどちらなのでしょう。自分だけがよければではなく、襟を正し、次世代への育成についても考えていくことが必要です。

⑤ ハッピーリタイヤ

どんな時もそうですが、なお高齢になり、貧困やコミュニティのない生活は誰もが避けたいものです。

職場の引退、生涯現役(仕事だけではなく趣味や遣り甲斐を見つけること)をプランし、今現在から未来に向けて、創り上げていくべきです。また、高齢でも自立できる経済を積み立てておきましょう。